

報告タイトル	分野において希少性のある専門職大学院の特性		
報告者所属名	メディア社会文化専攻(メディア教育開発センター)		
報告者氏名	石原 朗子		
1. 研究の目的			
専門職大学院は、高度専門職業人育成を目的とし、2003 年度に制度化された。分野の限定のないため、現在、非常に多くの分野で専門職大学院が設立されている。本研究では、その中で、当該分野において、数校しか大学院がない分野に着目し、その希少性が学生、教育、就職、専門職大学院としての位置づけにどう関わるかを検証する。			
2. 研究の方法			
(1) 研究手法			
各専門職大学院の教員に対し、インタビュー調査を行った。教員へのヒアリングは、可能な限り、学術教員と実務家教員、複数のコースの教員など、立場の異なる教員複数を対象とした。			
(2) 研究対象			
本研究は 2006 年度からの継続研究で、今回の対象は、以下の 3 分野の専門職大学院 5 校。			
医療: 九州大学大学院(医療経営・管理学専攻)、京都大学大学院(社会健康医学専攻)			
情報: 京都情報大学院大学(応用情報技術研究科)、神戸情報大学院大学(情報技術研究科)			
芸術: 宝塚造形大学大学院(デザイン経営学研究科)			
(3) 調査内容: 以下の 6 点について調査した。			
①設立の目的や経緯、②カリキュラム、③教員層の特色、④学生層の特色と就職支援・進路、⑤現段階での課題、⑥将来計画			
3. 研究報告			
(1) 仮説と現実の状況			
当初の予想では、希少な専門職大学院は、「学生の満足より就職などの結果を重視するタイプ」と予想していたが、 実際は、分野の特性に合わせた「ユニーク、工夫を凝らした学生の満足度を追求する教育」 に特徴があることが示唆された。			
(2) 調査結果ならびに知見			
教育や就職、修了要件などの点で、分野ごとの特性だけでなく、分野を超えた特性も見られた。			
共通する特性		資格が存在しない環境での教育の工夫、就職支援の熱心さ 学生が様々な背景を持つことによる多様性	
分野ごとの特性	医療	高く・細分化された専門性	
	情報・芸術	情報・芸術とビジネススキルなどとの融合	
分野を超えた特性(違い)		①マネジメント志向の有無 ②修了要件: 課題研究・成果物作成 vs. プロジェクト科目の集積	
4. 今後の研究の方向性ならびに展望			
今回、得られた知見等をもとに、「分野内希少型」専門職大学院の特徴としての論文を発表した(大学教育学会誌第 29 巻第 2 号)。本テーマは、専門職大学院の修了生が活躍する 5 年後、10 年後に価値が問われることになるため、長期的な視野で継続研究を行う予定である。			
また、分野ごとの議論から、今後、これを以下のような研究として発展させていきたい。			
・希少性のある専門職大学院を中心とした専門職大学院の特徴に関する研究			
・新しい分野(情報・芸術など)での専門職教育に関する研究			
・専門職大学院における e ラーニングなど ICT 活用教育に関する研究			